

都城の中・高生のみなさんへ

自分たちの住む霧島山麓の都城にも、長い歴史と文化を育んできた豊かな方言（地域言語）があります。この自分たちの母方言に関する研究の成果を知ること、新たな発見が生まれるでしょう。

都城諸県方言アクセントは日本語学者の中では知らない人はいないくらい特徴的な言語なのですが、この秘密もみんなで解き明かしましょう。音声分析実習ではコンピューターを使って声紋分析（音響分析）を行いません。最後に、新たな知的チャレンジも企画します。消滅が危惧されている方言を、自分たちの豊かな言語生活をおくるために、楽しみながら活用する方法をみんなで考えてみませんか。皆さんのアイデアでワクワクする地域づくりのプロジェクトを一緒に作りませんか。

こちらの
QRコードから
お申し込みください。



12月29日(土)

Mallmall 未来創造ステーション セミナー室

〒885-0051 宮崎県都城市中町 16 街区 15 号
アクセスマップ URL：
<https://www.machidukuri-miyakonojo-city.jp/>



Timetable

(両日とも同一内容です。)

9:40 ~ 10:00	受付 集合：都城市未来創造ステーション・セミナー室
10:00 ~ 10:20	開講式（挨拶、オリエンテーション、科研費の説明）
10:20 ~ 10:50	オープニングセッション 「自分達にとって方言とは何か？」 (終了後 15 分休憩)
11:05 ~ 12:00	インスピレーショントーク 「宮崎県方言のバリエーションの豊かさの謎」 *PC による音響分析実習も含む。
12:00 ~ 13:00	昼食・休憩
13:00 ~ 14:40	セッション①「都城・諸県方言を楽しむ（まちづくりのリソースとして活かす）」
14:40 ~ 15:00	クッキータイム
15:00 ~ 16:10	セッション②「マグネットテーブル・プロトタイピング」
16:10 ~ 16:40	プレゼンテーションタイム
16:40 ~ 17:00	修了式（アンケートの記入、未来博士号の授与）
17:00	終了・解散

地域言語(方言)を
自分たちの
地域づくりに活かす
プロジェクトを
創ろう!



松永 修一

(まつながしゅういち)
十文字学園女子大学・教授

私は都城泉ヶ丘高校出身の方言研究者です。早稲田大学文学部に進学して初めて方言が研究対象になるということを知りました。また、その研究成果は世界でも進んでいることが分かり益々、興味を持つようになりました。現在、月に一回、NHK 宮崎放送局の方言を紹介解説する番組に出演中です。

必要なものは
筆記用具だけ、
申込みはお気軽に、
そして、お早めに!
(募集人員 20 名)

申込みはコチラ!

十文字学園女子大学 学術情報部研究支援課(担当：立神^{たつかみ})

mail...info-kenkyu@jumonji-u.ac.jp

TEL...048-477-0555(代)、048-478-9367(代)

●申込締切 ①平成 30年12月15日(土) | 21日(土)、②平成 30年12月15日(土)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、①は7月28日(土)、

②は12月22日(土)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。



~ようこそ大学の研究室へ~

KAKENHI

JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE
日本学術振興会